

経済学史学会第 66 回大会プログラム

新潟大学 2002年10月26日 - 27日

10月26日(土) 第1日

自由論題 (報告30分, 討論30分, 会場移動5分)

| 時刻 | | 第1会場 | 第2会場 | 第3会場 |
|-------|------------|--|--|---|
| 9:45 | | 開会挨拶 (主催校) (第1会場) | | |
| 9:55 | 論 題 | G. バークリの認識論とマンデヴィルの「悪徳」概念——『アルシフロン』におけるマンデヴィル批判の真意—— | J. A. ホブソンの福祉経済学と政策思想——人間的福祉・過少消費・社会改良—— | レオン・ワルラス体制論の枠組 |
| 10:55 | 報告者 司会者 | 中野聡子 (明治学院大学) 坂本達哉 (慶應義塾大学) | 八田幸二 (東京都立大学) 熊谷次郎 (桃山学院大学) | 高橋 聡 (中央大学非常勤) 井上琢智 (関西学院大学) |
| 11:00 | 論 題 | ウィリアム・ペイリーの道徳哲学 | 1900年代ベヴァリッジの失業論: 他者との比較と独自の三段階発展 | カレツキにおける史的唯物論 |
| 12:00 | 報告者 司会者 | 大村照夫 (名古屋学院大学) 関 源太郎 (九州大学) | 小峯 敦 (新潟産業大学) 服部正治 (立教大学) | 山本英司 (龍谷大学非常勤) 音無通宏 (中央大学) |
| 12:00 | | 昼 食 ・ 休 憩 | | |
| 13:00 | | 会 員 総 会 (第1会場) | | |
| 14:00 | | | | |
| 14:05 | 論 題 | ジェームス・ステュアートの貨幣論——バリントンへの手紙 (1763年) の考察 | 厚生経済学の学説史的展開 | オットー・バウアーによる唯物史観の改変——『民族問題と社会民主主義』にみられる歴史把握—— |
| 15:05 | 報告者 司会者 | 奥山忠信 (埼玉大学) 竹本 洋 (関西学院大学) | 中村至朗 (名古屋学院大学) 橋本昭一 (関西大学) | 太田仁樹 (岡山大学) 星野彰男 (関東学院大学) |
| 15:10 | 論 題 | ドゥーガルド・ステュアートとの対比から見たウェイトリ経済学の特徴 | J. R. コモンズの制度経済学 | 「忘れられていた」もうひとつの経済学——シルビオ・ゲゼルの急進的な草の根自由主義の経済理論—— |
| 16:10 | 報告者 司会者 | 只腰親和 (横浜市立大学) 篠原 久 (関西学院大学) | 高 哲男 (九州大学) 若田部昌澄 (早稲田大学) | 相田慎一 (専修大学北海道) 赤間道夫 (愛媛大学) |
| 16:15 | 論 題 | J. S. ミル「労働の主張」と社会主義論——ミルの主張の思想的特質(について | ハイエクの「転換」プロセスの論理 | 旧IMLM所蔵、高野岩三郎、河上肇らとD. リャザーノフとの交流記録の解明 |
| 17:15 | 報告者 司会者 | 安井俊一 (慶應義塾大学大学院) 馬渡尚憲 (東北大学) | 秋山美佐子 (慶應義塾大学大学院) 田中秀夫 (京都大学) | 大村 泉 (東北大学) 的場昭弘 (神奈川大学) |

10月27日(日)第2日

午前：自由論題 (報告30分, 討論30分, 会場移動5分)

| 時刻 | | 第1会場 | 第2会場 | 第3会場 |
|-------|------------|--------------------------------|---|-------------------------------|
| 9:55 | 論 題 | マルサス価値論の形成過程 | ケインズ「流動性選好理論」のひとつの起源—— 1920年代英国貨幣数量理論の特徴—— | サヴェッジからルーカスへ |
| 10:55 | 報告者 司会者 | 佐藤 宏 (東北大学大学院) 出雲雅志 (神奈川大学) | 西川弘展 (大阪市立大学大学院) 千賀重義 (横浜市立大学) | 山崎好裕 (福岡大学) 池尾愛子 (早稲田大学) |
| 11:00 | 論 題 | マルサス初版『人口論』の諸問題 | カルドア内生的貨幣供給論再考——アコモデイト 派を超えて | アダム・ミュラーの社会経済思想 |
| 12:00 | 報告者 司会者 | 森岡邦泰 (大阪商業大学) 堂目卓生 (大阪大学) | 服部茂幸 (福井県立大学) 平井俊顕 (上智大学) | 原田哲史 (四日市大学) 田村信一 (北星学園大学) |
| 12:00 | 昼 食 ・ 休 憩 | | | |
| 13:00 | | | | |

午後：共通論題

| | | | | |
|-------|--------------------|--|--|--|
| 13:00 | テーマ | 古典的経済自由主義の再考 ——理論と政策の交錯を中心として—— | | |
| | 司会者 | 星野彰男 (関東学院大学)・千賀重義 (横浜市立大学) | | |
| | 報告者 および 論 題 | 大森郁夫 (早稲田大学)：「自由社会」の擁護——J. スチュアート「巧妙な手」の基本性格—— 新村 聡 (岡山大学)：アダム・スミスにおける市場・政府・モラル——総需要不足と金融不安定性をめぐって—— 渡会勝義 (早稲田大学)：リカードウ、マルサスにおける理論の形成と政策課題 | | |
| 17:00 | 総括討論者 | 和田重司 (中央大学)・水田 健 (東日本国際大学) | | |
| 17:00 | 閉会挨拶 (代表幹事) (第1会場) | | | |